

8. 主な意見・要望(自由記述)

- 現状の雇用対策はできているのではないかと。働く方の意識の問題もあると思う。
- 飲食店の人手不足は深刻。若い人達は面倒を嫌がる。
- 介護業界においては、ますます人手不足になる事が見込まれる為、雇用が確保される様な施策をどんどん立てて頂きたいと思う。
- 以前と違い、求人(看護職)が非常に困難である。従業員が欠けると、場合によっては休業、廃業も考えなくてはならないかもしれない。
- 人材が不足している職種についての雇用対策が必要。子供が小さいうちから、職場見学、職種など、勉強以外の仕事・業務を学ばせる取り組みを行う。どんな仕事があるのか分からないまま大人になり、方向性の見えない状況を変えないと、職種を選ぶ際に迷ってしまう。
- より高度な職業訓練校を作る。
- 新卒の高校生、大学生が地元企業に就職できる為の対応策(例えば学生への奨励金創設)で県外流出を防げないものか。鹿児島県の経営活性化、人口流出に歯止めをかける必要があるのではないかと。
- 求職者と求人側のミスマッチが起こらないようにフォローして欲しい。
- ハローワーク窓口の処理の迅速化を希望する。
- 「ワーク・ライフ・バランス」とよく言われるが、幼児教育に携わっていると、乳幼児期から施設に預ける保護者が年々増加してきているように感じる。「働きやすい環境づくり」「子育てをしやすい環境づくり(働きながら)」は理解できるが、「ワーク」の面に重点が置かれているように思う。「ライフ」の中での子育てをもっと考えていく必要があると思う。子どもたちを預かる施設で働く職員(教育者)もワークが多くなり、家庭と両立できる職場であることは非常に難しい。
- 保育園等の整備の充実を計り、女性の社会進出を積極的に進めて欲しい。
- 幼稚園免許、保育士免許所有者で子育てが一段落した主婦等の求人登録制があればいいと思う。
- 助成金などは、極小企業の場合、対策にかかる時間と能力がない。
- 税収の確保より労働人口の増を視点に税制の見直しをしてほしい。控除対象配偶者制度や、高齢者を活用するために、働いても年金が減額されない制度など。

